

解 答 速 報



医学部受験予備校

英語

医特

大阪医科薬科大学 一般選抜前期

I

1.	放っておくと忘れてしまいそうな過去の出来事を思い出させてくれるものとして、取り置いている物品。				
2.	① ア	② オ	③ エ	④ ク	⑤ イ
3.	(あ) イ	(い) エ	(う) ウ	(え) イ	(お) カ
4.	⑥ キ	⑦ ウ	⑧ オ	⑨ エ	⑩ イ
5.	(a) the blue plastic bag	(b) the letters which the author wrote to her mother-in-law about her family life every week			

II

1.	紙面上と電子機器上で文章読解力は同じなのか、また、動画視聴が紙面上での読書と同じ効果を持つのかという二つの疑問。(56字)				
2.	① paper	② tasks	③ remember	④ color	⑤ events
3.	学生たちに読ませてからテストを受けてもらうのではなく、紙面に印刷された読書課題を読んだ場合と、電子機器上で読んだ場合とで、その学習全体がどう感じられたかを私たちは学生たちに尋ねたのだ。				
4.	⑥ increase	⑦ podcasts	⑧ reading	⑨ heath	⑩ online
5.	イ・オ				

III

(1)	Skills needed to communicate effectively [required for effective communication] vary greatly from culture to culture. [別解] Different cultures require different skills for effective communication.
(2)	In some cultures, good [effective] communication means that the speaker can express things [what he or she wants to say] as clearly as possible, while in others [other cultures], it means that the listener can read between the lines. [別解] In some cultures, to make communication smooth, it is necessary for the speaker to transmit [convey] what she or he wants to say as clearly as possible, while in others, the listener is supposed to infer what is implied in the speaker's message.
(3)	Thus, in many cultures, to be a good listener is as important (a skill) as to be a good speaker. [別解] Therefore, being a good listener is often as important as being a good speaker. [別解] It is, therefore, as important to be a skillful listener as to be a skillful speaker, as is often the case with many cultures.

～講評～

- I**：「思い出の手紙などを取り置いておくこと」について述べた英文であった。下線部説明1題、動詞の空所補充5題、指示内容特定5題、空所補充5題、指示内容を英語（5語+15語）で説明する問題の出題で、どれもあまり悩ましい出題ではなかった。大阪医科薬科大を受けようと準備をしてきた受験生にとっては、難なく処理できたであろう。ただし、1.の下線部説明問題は、該当箇所の発見は容易だが、それを意味の通る日本語で表現する力が試された。
- II**：「電子機器・オンライン上での学習の欠点」について述べた英文であった。このテーマは最近似たようなものが多く、おそらく受験生も読んだことがあるテーマであったはずだ。（大阪医科薬科大も、「紙媒体での読書と電子機器上での読書の違い」については過去に出題歴がある。）下線部説明1題、パラグラフ要約の空所補充5題×2、下線部和訳1題、3パラグラフ分の内容一致の出題であった。1.の下線文説明問題では、指定された字数で答えるには、日本語の表現を工夫する必要があった。3.の和訳問題は、辞書的な逐語訳では滑らかな日本語にならず、文脈を踏まえた訳語の選定が求められ、大阪医科薬科大らしい出題と言える。
- III**：「コミュニケーションに対する話し手と聞き手の貢献」についての英作文問題。こちらは昨年と同じ分量・レベルの出題であった。和文もやわらかく、表現レベルで差が付くような問題ではなかったと思われる。こちらも大阪医科薬科大らしい出題で、和文をそのまま英作文できるような出題が目立った。ただし、(2)は自然な英文で表現するのに工夫を要するものだったかもしれない。

昨年度、例年の和訳・説明問題が中心だった出題傾向から大きく変化したが、今年もさらに変化し、記号問題や空所補充問題の出題が増え、記述量が激減した。新形式を定着させてきているように思われる。一部、日本語表現力が問われる問題があるが、全体としては取り組みやすくなっている印象である。合格には75%を目指したい。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2	名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F	大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3 4 江坂第1ビル 3F
個別専門館 麹町校 TEL : 050-1809-4751 東京都千代田区二番町 8-20	京都校 TEL : 075-746-4985 京都市下京区下諏訪町 360	医学部特訓塾 TEL : 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F